



外観イメージ

「八重洲二丁目中地区第一種市街地再開発事業」 着工

当社が開発、実施設計・監理、施工を担当する「八重洲二丁目中地区第一種市街地再開発事業」※¹の新築工事が8月8日に着工しました。「東京駅前3地区再開発」※²の集大成となる最大規模の開発プロジェクトです。オフィス・商業施設に加え、サービスアパートメント、インターナショナルスクール、劇場、バスターミナルを含む、地上43階、地下3階、延床面積38万9,000㎡の複合施設となります。2029年1月に竣工予定です。

※1 八重洲二丁目中地区市街地再開発組合と鹿島建設(株)、住友不動産(株)、(独)都市再生機構、阪急阪神不動産(株)、ヒューリック(株)、三井不動産(株)の参加組合員6社で推進する事業

※2 「東京駅前八重洲一丁目東地区」「東京ミッドタウン八重洲」「八重洲二丁目中地区（当地区）」の3つの第一種市街地再開発事業



受賞後の記念撮影

全国発明表彰「文部科学大臣賞」、「発明実施功績賞」を受賞

「令和6年度全国発明表彰」※において、当社社員が発明した「圧力副室付加による振動エネルギー吸収効率増倍式ビル用制震オイルダンパの発明（特許第6000872号）」が「文部科学大臣賞」を受賞し、併せて、実施企業として当社が「発明実施功績賞」を受賞しました。

本発明は、当社の主力制震オイルダンパ技術「HiDAX®-R」です。一般型オイルダンパの約4倍の制震効率を有し、2015年の開発以来、都市部を中心に多数の超高層ビルに採用されています。

※ 1919年の第1回帝国発明表彰に始まり、文部科学省、経済産業省、特許庁、(一社)日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本弁理士会、(株)朝日新聞社の後援により開催



HiDAX-Rの外観